

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

110

粗大ごみ収集運搬事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	清掃費		
	目	塵芥処理事業費		
	大事業	塵芥処理事業		
	中事業	粗大ごみ収集運搬事業		

事業種別	継続		関連個別計画	一般廃棄物処理基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	一般廃棄物課	山下 幸宏 435-1352
事業実施の根拠法令	関連課			青岸清掃センター・収集センター北事務所		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	粗大ごみを迅速、かつ効率的に適正処理し資源化するため。		粗大ごみの収集運搬体制の合理化・効率化のため、継続して民間事業者へ収集運搬を委託する。回収した粗大ごみをストックヤードや青岸エネルギーセンターにて資源回収する。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		粗大ごみの収集受付件数@ 3,208件@粗大ごみの収集トン数@ 1,929.33トン@粗大ごみ日曜搬入の受付件数@ 2,281件	粗大ごみの収集受付件数@ 31,489件@粗大ごみの収集トン数@ 1,804.85トン@粗大ごみ日曜搬入の受付件数@ 1,817件	粗大ごみの収集受付件数 31,802件、粗大ごみの収集トン数 2,139.44トン	粗大ごみを迅速、かつ効率的に適正処理し資源化するため、粗大ごみの収集運搬業務を委託する。	粗大ごみを迅速、かつ効率的に適正処理し資源化するため、粗大ごみの収集運搬業務を委託する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	52,810	52,801	52,810	52,801	52,810	52,809	53,299	0	53,299	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.9%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	2,385	2,464	2,314	5,663	5,675	5,115	5,835	0	5,835	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,385	2,464	2,314	5,663	5,675	5,115	5,835	0	5,835	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	52,810	52,801	52,810	52,801	52,810	52,809	53,299	0	53,299	0	
所要人数(人)	正規職員	0.30	0.31	0.29	0.71	0.71	0.64	0.73	0.00	0.73	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理委託料 52,801千円 他										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
受付件数		件	目標値					
			実績値	32208	31489	31802		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
適正処理率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
収集量		トン	目標値	1709	1677			
			実績値	1929	1804	1941		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	現時点では委託業者に対する苦情がほとんどなく、収集時間についても、年末及び引越シーズン等の特定の繁忙期を除くと、遅滞なく行えているため。
見直し・改善内容	粗大ごみの中にはまだまだ使用可能なものも多く含まれている。更なるリユース、リサイクルの啓発に努める必要がある。